

井上病院 伝言板

第279号 2021年2月

＜井上病院 理念＞

医療を通じ 地域の方へ安心を提供すること
絶え間ない質の改善を行うこと
自分や自分の家族が受たい医療を行うこと
働きがいのある明るい職場をつくること

「新型コロナウイルス感染症クラスター収束の 報告と今後の当院の取り組みについて」

2020年12月22日に当院を退院した患者様に新型コロナウイルス感染が判明しました。調査の結果、同時期に入院していた患者様および職員などに感染が判明し、当院にて新型コロナウイルス感染クラスターが発生したと判断しました。

クラスターを収束させることに専念するために、長崎市保健所及び長崎大学などの専門家のご助言およびご指導を受け、すぐ全ての外来診療と救急診療及び新規入院受入を全面的に停止いたしました。

ウイルスの侵入経路は特定には至りませんでした。感染対策を全面的に見直し、実行いたしました。その結果、2021年1月7日を最後に新規感染者の発生がなく、1月21日の当該病棟の患者様および職員の検査にて全員陰性が確認され、2021年1月22日をもってこのクラスターが収束したことをご報告致します。

この間の感染者は、患者および職員合計27名に及びましたが、皆様が早く全快されることを願っています。

また、診療停止期間中、日頃から当院をご利用の患者様、医療機関の皆様方には大変ご不便およびご迷惑をおかけしてしまい、心よりお詫び申し上げます。

当院におきましては、今回の苦い経験を踏まえ、今後の院内感染を二度と起こさないという全職員の決意の下、感染防止対策を強化致しました。具体的な取り組みは右記の通りです。

- 1) 全職員が健康管理に気をつけ、徹底した手指消毒、マスク着用を行います。
- 2) 正面玄関に、発熱者早期検出のためのサーモグラフィーカメラを設置しました。また自動手指消毒器を館内数か所に設置しました。
- 3) 発熱の方を診察する「発熱外来」を設置し、一般外来と動線を分けています。
- 4) 来院される方の院内感染のリスクを少しでも減らすように、「三密」を避け、「院内滞在時間をできるだけ短く」する取り組みを行います。新患外来を予約制とします。昨今注目されているオンラインモニタリングおよびオンライン診療を積極的に導入いたします。また、ご希望の方には診療所の先生方に逆紹介いたします。
- 5) 院内にCOVID-19遺伝子検査機器を整備し、迅速診断ができる体制にしています。
- 6) 入院の方全例にCOVID-19遺伝子検査を実施します。
(検査代のご負担はありません)。
- 7) 入院となった場合、当面の間、一定期間「個室」に入院となります(個室料は頂きません)。入院中は可能な限りマスク着用をお願いします。病室の定期的な換気を行います。
- 8) 病棟での面会を禁止しています。オンラインでの面会および病状説明をご利用ください。
- 9) 当面の間、救急医療および急性期医療を優先させていただきます。申し訳ありませんが、予定入院の場合であっても、予定を変更させて頂く場合がございます。

クラスター発生後、実に多くの方々から激励のお言葉、様々な差し入れなどを頂きました。職員一同本当に勇気づけられ、感謝しております。皆様には大変ご不便をおかけ致しますが、できるだけ皆様に安全と安心をお届けするための取り組みを行ってまいります。今後ともご理解とご支援を宜しくお願いいたします。

なお、詳細は下記をQRコードにて当院ホームページをご覧ください。

社会医療法人春回会 井上病院
院長 吉嶺裕之